

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-155137

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月8日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 N 7/16

識別記号

F I

H 0 4 N 7/16

C

審査請求 有 請求項の数3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-335003

(22) 出願日 平成9年(1997)11月19日

(71) 出願人 597041884

株式会社アダムス

大阪市中央区城見1丁目4番70号 住友生
命O B Pプラザビル16階

(72) 発明者 三宅 恭弘

東京都世田谷区深沢1-28-19

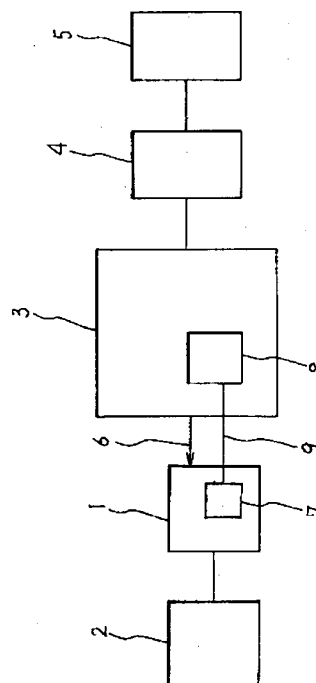
(74) 代理人 弁理士 田辺 敏郎

(54) 【発明の名称】 有料チャンネルに対する広告付加選択システム

(57) 【要約】

【課題】 チャンネル数を増やさずにローコストで広告が含まれない番組と広告が含まれる番組とを視聴者が選択し得ることができ、また広告効果が反映される広告の出稿料という的確で明瞭な料金システムとすることができ、有料チャンネルに対する広告付加選択システムの構築を目的とする。

【解決手段】 有料チャンネルの視聴開始時に、受信装置1はテレビ受像機2に対し広告を付加した映像と広告のない映像のどちらかを選択させるかを表示し、視聴者が広告を付加した映像を選択した場合には、広告を付加しない映像を選択した場合と同一のチャンネルにおいてその番組映像に広告映像を付加する。当該有料チャンネルの放送通信管理設備3には、視聴者ごとに広告を付加した番組についての視聴料を減額して演算する演算装置8を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 番組ごとに視聴料を要する有料チャンネルの視聴開始時に広告を付加した映像と広告のない映像のどちらかを視聴者に選択させ、視聴者が広告を付加した映像を選択した場合には広告を付加しない映像を選択した場合と同一のチャンネルにおいてその番組映像に広告映像を付加するとともに、当該有料チャンネルの放送通信管理設備には視聴者ごとに広告を付加した番組についての視聴料を減額して演算する演算装置を設けたことを特徴とする有料チャンネルに対する広告付加選択システム。

【請求項 2】 有料チャンネルの放送通信管理設備の演算装置は、番組に付加された広告の数に応じて広告の出稿料を設定すべく番組ごとに付加された広告の数を計数することを特徴とする請求項 1 記載の有料チャンネルに対する広告付加選択システム。

【請求項 3】 有料チャンネルを受信する視聴者の管理する受信装置は、有料チャンネルの視聴開始時に受像機に対し広告を付加しない若しくは広告を付加するのどちらかを選択する画面を出力することを特徴とする請求項 1 記載の有料チャンネルに対する広告付加選択システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、ディジタル衛星放送等において提供されている番組ごとに視聴料を要する、いわゆる有料チャンネルにおける視聴者—放送通信事業者—広告代理業者—広告依頼主を結ぶ番組配信システムに関し、特に視聴者にとっては番組視聴料が減額され得るメリットがあるとともに、広告依頼主及び広告代理業者にとっては視聴者が実際に広告を観た件数に応じた明瞭な出稿料となることで、有料チャンネルの発展に大いに寄与することのできる有料チャンネルに対する広告付加選択システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 現在、衛星ディジタル放送等において、番組ごとに視聴料を要する有料チャンネルが提供されている。この有料チャンネルとは、衛星ディジタル放送にあってはIRDと称される受信装置にアンテナと電話回線が接続されており、通信衛星から送信された電波を受信装置が受信してテレビに番組を映す際に、視聴者が受信装置で有料チャンネルを選択すると画面には有料視聴に同意する場合の操作が表示される。視聴者が、その指示に従い有料視聴に同意する操作を行うと、番組が視聴可能になるとともに、受信装置内にセットされているICカードに当該番組を視聴したことが記録される。放送通信事業者の管理するコンピュータは、1ヵ月ごとに電話回線を通じて前記受信装置内のICカードにアクセスし、視聴料を算出し視聴者に請求するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 民間放送では、一般に番組に広告を付加し広告依頼主から出稿料を得ること、視聴者は視聴料を支払うことなく無料チャンネルとして番組を視聴できるが、上述した有料チャンネルには広告が含まれない分視聴者は番組だけを純粋に鑑賞できる反面、視聴者自身がコストを負うこととなる。またこの有料チャンネルは、当然のことながら有料でも観たいと思わせる種々の魅力有る番組からなるものである。

【0004】 しかしながら、有料チャンネルにおける魅力有る番組をなるべくローコストで視聴したいという視聴者も数多く存在する。ただし、広告が含まれない番組だけの鑑賞を望む視聴者も当然のことながら存在することから、一律に番組に広告を付加することはできない。そこで放送通信事業者としては、広告が含まれない番組と広告を付加した番組の2番組を揃えれば、番組構成にバラエティを持たせられるのであるが、広告が含まれない有料チャンネルと広告を付加したローコストチャンネルの2つのチャンネルを持つことは配信コストが2倍になることから実際には不可能なことであった。また、広告依頼主や広告代理業者にとっては、従来の広告の出稿料は、番組の配信時間帯に応じて設定されているものの、必ずしも実際の広告効果を反映したものとはいえなかった。

【0005】 そこで本発明は、これらの問題を解決すべく、チャンネル数を増やさずにローコストで広告が含まれない番組と広告が含まれる番組とを視聴者が選択し得ることができ、また広告効果が反映される広告の出稿料という従来にない的確で明瞭な料金システムとすることができる有料チャンネルに対する広告付加選択システムを構築することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明の有料チャンネルに対する広告付加選択システムは、番組ごとに視聴料を要する有料チャンネルの視聴開始時に広告を付加した映像と広告のない映像のどちらかを視聴者に選択させ、視聴者が広告を付加した映像を選択した場合には広告を付加しない映像を選択した場合と同一のチャンネルにおいてその番組映像に広告映像を付加するとともに、当該有料チャンネルの放送通信管理設備には視聴者ごとに広告を付加した番組についての視聴料を減額して演算する演算装置を設けたことを特徴とするものである。

【0007】 また、有料チャンネルの放送通信管理設備の演算装置は、番組に付加された広告の数に応じて広告の出稿料を設定すべく番組ごとに付加された広告の数を計数してもよい。

【0008】 また、有料チャンネルを受信する視聴者の管理する受信装置は、有料チャンネルの視聴開始時に受像機に対し広告を付加しない若しくは広告を付加するのどちらかを選択する画面を出力してもよい。

【0009】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の有料チャンネルに対する広告付加選択システムの概要を示しており、本実施例にあっては衛星デジタル放送システムを例にとり以下に説明する。図中1は、視聴者が管理し衛星デジタル放送の有料チャンネルを受信する受信装置、2は視聴者が管理し受信装置1から出力される映像信号を映し出すテレビ受像機、3は有料チャンネルを配信・管理する放送通信事業者の放送通信管理設備、4は放送通信事業者と広告依頼主5との間に介在する広告代理業者、6は放送通信管理設備3から視聴者の受信装置1へ番組を配信する情報伝送手段である。

【0010】まず視聴者が、受信装置1とテレビ受像機2を用いて有料チャンネルを選択し番組を受信すると、受信装置1はテレビ受像機2に対し、このチャンネルの番組に広告を付加しない若しくは広告を付加するのどちらかを選択する画面を出力する。この際、番組に広告を付加しない場合の視聴料、及び広告を付加する場合の視聴料の双方を表示してもよい。

【0011】視聴者が、受信装置1に対し番組に広告を付加しない方を選択指定すると、広告が付加されない通常の有料チャンネルとして番組が視聴可能となる。この場合には所定の通常視聴料が課金され、具体的にはこの有料チャンネルの番組を広告を付加せずに視聴したというデータとして受信装置1に内蔵したICカード等のメモリー手段7に記録される。

【0012】一方視聴者が、受信装置1に対し番組に広告を付加する方を選択指定すると、受信装置1は番組の映像信号に、番組の映像信号の隙間を利用して送信される広告の映像信号をかぶせてテレビ受像機2に出力する。この広告の例としては、たとえば画面の下方部分には広告依頼主5の商品・サービス等を宣伝する文字図形等からなる広告が右から左へとスクロール表示されるものなどである。この場合には所定の通常視聴料から減額若しくは無料化されて課金され、具体的にはこの有料チャンネルの番組を広告を付加して視聴したというデータとして受信装置1のメモリー手段7に記録される。

【0013】8は、有料チャンネルの放送通信管理設備3に視聴者ごとに広告を付加した番組についての視聴料を演算する演算装置であり、この演算装置8は1ヵ月ごとに電話回線9を通じて受信装置1内のメモリー手段7にアクセスして視聴料を算出し、放送通信事業者は視聴者に対して視聴料請求を行うものである。また、演算装置8は番組ごとに番組に広告を付加させた件数を演算することができるので、広告代理業者4は広告依頼主5に対し広告付加件数、すなわち広告ビラの配布枚数と同様に広告の配信数に対応した広告の出稿料を請求することもできる。さらに演算装置8は、上述した視聴料や出稿料を演算するのみならず、番組ごとの視聴者の各種属性を統計処理することも可能である。

【0014】有料チャンネルを配信・管理する放送通信事業者は、番組に広告を付加した分視聴者からの視聴料が減るものの、広告代理業者4がその減額分に対応する額を広告依頼主5から出稿料として受け取って放送通信事業者に補填するものである。

【0015】これにより、視聴者にとっては有料チャンネルの魅力有る番組をなるべくローコストで視聴したいという要望が満たされ、視聴機会の増大が見込まれ、また放送通信事業者にとっては、通常の広告が含まれない番組に加え、広告が含まれる番組をチャンネル数を増やすことなく配信することが可能となり、番組構成にバラエティを持たせることができる。さらに、広告依頼主5及び広告代理業者4にあっては、広告の出稿料を視聴者が実際に広告を観た件数に対応させる、すなわち広告効果を反映した出稿料という従来にない的確で明瞭な料金システムを構築することができる。

【0016】尚、本実施例にあっては、衛星デジタル放送システムを例にとり説明したが、勿論これに限定されるものではなく、例えばCATV等の有線放送等であってもよいものである。

【0017】また、広告の表示方法にあっても、上述したスクロール表示に限定されないことはもちろんである。

【0018】

【発明の効果】以上詳述した如く、本発明の有料チャンネルに対する広告付加選択システムによれば、視聴者にあつては有料チャンネルの魅力有る番組をなるべくローコストで視聴したいという要望が満たされて視聴機会の増大が見込まれるとともに、放送通信事業者にとっては通常の広告が含まれない番組に加え、広告が含まれる番組をチャンネル数を増やすことなく配信することが可能となり、番組構成にバラエティを持たせることができ、ひいては有料チャンネルの発展に大いに寄与することができるものである。

【0019】また、有料チャンネルの放送通信管理設備の演算装置が、番組に付加された広告の数に応じて広告の出稿料を設定すべく番組ごとに付加された広告の数を計数することとした場合には、広告依頼主及び広告代理業者にあつては、広告の出稿料を視聴者が実際に広告を観た件数に対応させる、すなわち広告効果を反映した出稿料という従来にない的確で明瞭な料金システムを構築することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の有料チャンネルに対する広告付加選択システムの説明図である。

【符号の説明】

- 1 受信装置
- 2 テレビ受像機
- 3 放送通信管理設備
- 4 広告代理業者

5 広告依頼主
6 情報伝送手段
7 メモリー手段

8 演算装置
9 電話回線

【図1】

